

福岡県労連

KEN & ROREN

2017
5月号
No.127

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル 2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822

編集発行
福岡県労働組合総連合
福岡県労連



【定価】
1部10円

共謀罪(テロ等準備罪)強行採決反対!
みんなの抗議の意を示そう!

内閣総理大臣官邸 FAX 03-3581-3883 メール <http://kantei.go.jp/> から「ご意見・ご感想」のページへ
二階俊博自民党幹事長 FAX 03-3502-5037 メール nikai_201212@nikai.jp
保岡興治自民党憲法改正推進本部長 FAX 03-3508-3870 メール tokyo@yasuoka.org



福岡地区(天神中央公園)



北九州地区(勝山公園)

平和と民主主義、
働くルールを確立しよう!

第88回

メーデー

県内9カ所に 働く仲間集う

第88回メーデーは、5月1日好天のもと「働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう!」のスローガンで、県内9会場3,000人が参加して開催されました。

天神中央公園で行われた福岡県中央統一メーデーは、900人が参加。主催者を代表して、江口実行委員長(県春闘共闘議長)は、過労自死した電通の高橋まつりさんの事件に触れ、「アベ働き方改革」を批判、「働くルールの確立」を呼びかけ、「共謀罪の廃案」も訴えました。

集会は、リレートーク、デコ・プラ展の表彰のあと、天神繁華街をデモ行進しました。



直鞍地区(直方市・須崎公園)



筑後地区(久留米市・小頭町公園)



許すな過労死合法化

シリーズ働き方改革②

安倍「働き方改革」の柱である残業規制について、連合と経団連は3月13日に労使合意しました。4月27日から厚生労働省労働政策審議会が審議が始まっています。

連合と経団連の合意文書は、「過労死・過労自殺ゼロを実現」することを目指す一方、一時的な業務量の増加がやむを得ない特定の場合の上限については、①年間の時間外労働は月平均60時間・年720時間以内とする、②休日労働を含んで2ヶ月ないし6ヶ月平均は80時間以内とする、③休日労働を含んで、単

月100時間を基準値とする、④月45時間を超える時間外労働は半年分を超えないこととする、と過労死ライン80時間を超えた水準を容認する内容です。労使合意では、「上限規制は、罰則付きで実効性を担保する」としていますが、月45時間・年360時間の原則については、あくまで「近づける努力が重要である」として、各企業職場による自主規制に委ねられているだけです。

厚生労働省の「健康づくりのための睡眠指針2014」には、「睡眠不足は、仕事の能率を低下させる。睡眠不

足は、疲労や心身の健康リスクを上げるだけでなく、作業能率を低下させ、生産性の低下、事故やヒューマンエラーの危険性を高める可能性がある」と指摘しています。

総務省は、先日「地方公務員の時間外勤務に関する実態調査」の結果報告を行いました。労働安全衛生法は、長時間労働者に医師による面接指導実施を義務付け、事業者にも様々なことを義務付けています。職場での労働安全衛生活動も職場改善に大きな役割を発揮します。

全労連共済

ささえあって
広げる安心

まかせて安心!
充実の補償内容

》自動車共済

こんな時に!自動車共済がサポートします!

対人賠償共済

人をはねてしまった!
相手にケガをさせた!

人身傷害共済・
搭乗者傷害共済

自分がケガをした!
乗っている人がケガをした!

対物賠償共済

他人の車やものを
壊してしまった!

車両共済

ご契約のお車が壊れた!

掛金お手頃!
ワイドな補償

》火災共済

住宅も家財も大きな安心!!

他人に住宅を
貸している方

住宅のみ
加入できます

自家にお住まいの方

住宅・家財ともに
加入できます

アパート・借家などに
お住まいの方

家財のみ
加入できます

住宅は最高保障
3,000円
(300口)

家財は最高保障
1,500円
(150口)

お問い合わせは

全労連共済福岡県支部

☎092-433-1833

核兵器廃絶の大きなチャンス 「ヒバクシャ国際署名」を国連に届けよう

唯一の被爆国である日本の市民運動が発信し続けてきた核兵器廃絶の声は、今、世界共通の願いとなっています。今年6月には初の核兵器禁止条約の策定に向けた国際会議が国連本部で予定されています。全世界から核兵器廃絶の実現のために、私たちにできること「ヒバクシャ国際署名」や平和行進に取り組む中で、ゆるぎない核兵器廃絶の声をひろげていこう。

核兵器禁止条約策定へ世界が動く

3月27日から31日まで、ニューヨークの国連本部で「核兵器禁止条約」の交渉会議（第1会期）が開催され、人類史上初めて核兵器を違法なものとして法的に拘束する条約策定に向けた論議がスタートしました。この会議には、各国政府代表だけでなく、被爆者をはじめとした市民社会の代表も参加しました。

ヒバクシャ国際署名の重要性学ぶ

4月15日、核兵器廃絶国際署名推進福岡県連絡会主催による「核兵器廃絶国際署名をさらに広げよう！学習決起集会」が、国連会議で発言した藤森俊希氏を講師に迎えて、福岡市で開催されました。



藤森氏は、被爆者と国連会議のエレン・ホワイト議長が懇談した際に、「会議での被爆者の証言と市民社会の声が大きな力を与えてくれた」「次の6・7月の会議では、たくさん署名を持ってきてほしい」と励まされたことを紹介し、核兵器禁止条約実現のために、今「ヒバクシャ国際署名」を国連に届けることの重要性を訴えました。「ヒバクシャ国際署名」は、平和首長会議でも取り組みます。全ての単産・単組で核兵器廃絶の世論を大きく広げ、国民平和行進、原水爆禁止世界大会の成功へとつながっていきましょう。

●「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」(「ヒバクシャ国際署名」)は、2020年のNPT再検討会議までに、世界で数億の署名を目標に昨年4月から取り組まれています。「ヒバクシャ国際署名」は、福岡県労連のホームページからダウンロードすることができます。

2017国民平和行進7月九州へ

「国民平和行進」は、今年は7月14日に大分県から、16日に山口県から、22日に熊本県から福岡県に引き継がれ、7月26日に佐賀県に引き継ぎます。詳しい日程は次号でご案内します。



福岡労働局に抗議行動

公正・公平な最賃委員任命を

第50期福岡地方最低賃金審議会労働者代表委員(定数5、任期は今年4月から2年)の任命は、3月29日福岡労働局から県労連傘下の候補者が「任命されなかった」という連絡が個々の組合にありました。今回、県労連は、5名の推薦と115団体分の「労働者委員に非『連合』所属の候補の任命を求める要請書」を労働局に提出し、公正・公平に任命するよう強く要請。合同庁舎前で最低賃金の引き上げと公正任命の宣伝行動を行ってきました。4月17日、今回「任命されなかった」事に対して、労働局に抗議。当局は「経歴を審査して総合的に判断して任命した」「要請の主旨は理解している。本省に伝える」と答えました。今後、行政不服審査法に基づく異議申し立てを行う予定です。

広島県労連招いて取り組み学ぶ

現在と将来の日本を考えるうえで重要 最低生計費試算調査学習会

県労連は、4月20日に広島県労連の門田事務局長を招いて、全労連の地方組織が各地で行っている「最低生計費試算調査」の広島の取り組みを学ぶ、学習会を開催しました。門田事務局長は、労働総研資料を示しながら「年収300万円の結婚の壁」で、結婚できない若年労働者が増えており、単に「貧困」が深刻という問題にとどまらず、安心の老後生活を展望する点からも、現在と将来の日本を考えるうえで重要だと話しました。そして、最低賃金が

国民健康保険・県単位化にむけて県と懇談

県民負担増の 県単位化は許されない

県労連も参加する福岡県社保協(社会保障推進協議会)は、4月17日平成30年度に行われる「国民健康保険の県単位化に伴う諸課題について」県保険医療介護部医療保険課と懇談を行い、県下各地から31人が参加しました。県労連からは5人が参加しました。

懇談では、保険料に大きな影響を与える「納付金と標準保険料」の公表や「滞納・差押問題」「国民健康

保険法第44・77条減免」「県の国保運営協議会の公募」「各市町村国保の自主性と裁量の尊重」などについて、質問と意見が山のように出されました。算疑の予定の時間を大幅に超過しましたが、最後に県知事に対して要望書を手渡し終了しました。多くの矛盾と要求が渦巻く国民健康保険の県単位化にむけて引き続き取り組みを強めます。ご意見をお寄せください。

徳山 喜雄著

本書おすすめ 『安倍晋三「迷言」録』 政権・メディア・世論の攻防

著者は、朝日新聞記者で写真部次長、雑誌AERAのフォトディレクターなどを務め、マスコミの中にいた者として、安保法制をめぐる安倍首相の「迷言」や戦後70周年「安倍談話」、自民党のマスコミへの圧力と自己規制などをたどっている。「断定口調」「レトリック」「感情語」という「安倍氏一流の言葉」(アベ流言葉)と新聞やTVの取り上げ方などを検証し、政治状況や国民世論や新聞やTVなどのマスコミも二極化する状況に対して憂いを述べている。著者は本書



各単産から30人が集いました

それぞれの単産や地域での活用方法についても触れました。今秋、県内での「最低生計費試算調査」を行います。



▲提示された資料



平凡社新書
2016年1月刊
定価780円+税